



第一部では、「かぎやで風」や「ぬち花」などの琉球舞踊が披露され、第二部では浦添にゆかりのある伝説上の人物「舜天」の誕生から王になるまでが上演されました。2日間で計1,858人が来場し、会場は満員となりました。

舜天が中山の王に即位し、母である真樽金を迎えに行くシーン。

グランドフィナーレ

**泉州**市との交流は、はるか琉球王朝時代に遡り、察度王の入貢がその始まりで、中国の受け入れ港が泉州だったといえます。再び友好の輪を広げたきっかけは昭和56年に浦添市が「中国進貢使路の旅」として学術文化調査団を派遣したことです。現在の交流は、経済交流団や文化交流団を受け入れていきます。

**蒲** 郡市との交流は、昭和37年愛知県出身の英霊をまつる「愛国知祖の塔」を浦添城跡内に建立したことから始まりました。現在、蒲郡市とは、スポーツ・文化交流など毎年2団体の交流団を派遣・受入をしています。平成21年度は浦添市文化協会会員の派遣、蒲郡市文化協会会員の受け入れをはじめ、蒲郡市野球協会を受け入れ、浦添